



### **坂井建雄** (さかい たつお)

順天堂大学医学部 解剖学・生体構造科学講座 教授

1953年大阪生まれ、1978年東京大学卒、1978年東京大学解剖学教室助手、1984～'86年ハイデルベルク大学解剖学研究室に留学、1986年東京大学助教授、1990年順天堂大学教授。現在に至る。専門は解剖学、医学史、腎臓と血管の細胞生物学。主な著書・訳書：『からだの自然誌』（東京大学出版会）、『カラー図解 人体の正常構造と機能』（日本医事新報社）、『人体観の歴史』（岩波書店）、『標準解剖学』（医学書院）など多数。

### **町田志樹** (まちだ しき)

臨床福祉専門学校理学療法学科 専任教員

順天堂大学医学部 解剖学・生体構造科学講座 協力研究員

資格等：認定理学療法士（学校教育）、日本マイオチューニングアプローチ学会 理事

1977年新潟生まれ。新潟リハビリテーション専門学校（現、新潟リハビリテーション大学）卒業後、2010年より順天堂大学 大学院医学研究科 解剖学・生体構造科学講座 研究生として坂井建雄教授に師事し、解剖学を学ぶ。その後、2015年に同大学 博士課程を修了（入学資格審査合格のため、修士課程免除）し、博士（医学）を取得。現在は臨床福祉専門学校理学療法学科にて教鞭をとりつつ、解剖学の卒後教育をコンセプトとした講習会「いまさら聞けない解剖学」を全国で展開。北海道から沖縄まで20以上の都道府県で開催し、年間2,000名以上の現職者に講義を行っている。